

兵高教組
調査情報
 2023年5月12日 1号

兵庫県高等学校教職員組合調査部
 TEL : 078-341-6745
 FAX : 078-351-3185
 URL : http://www.hyogo-kokyoso.com
 mail : honbu@hyogo-kokyoso.com



**「人格の完成をめざす、そのための教育を」
高教組委員長呼びかけ**

**「従来の労使慣行を尊重するとともに相互の信頼関係を大切に」
教育長回答**

2023年度教育長交渉

4月27日(木)、女性交流館にて教育長交渉が行われ、従来の労使慣行を尊重するとともに、相互の信頼関係を大切にしながら、今後とも進めていくことが確認されました。以下に発言の要旨を紹介します。

「コロナ禍での奮闘と工夫に感謝」
 県教委 藤原俊平 教育長あいさつ
 この3年間長いコロナ禍の中で、学校現場で子どもたちの健康を第一に考え、教育活動やクラブ活動等に当たっての工夫をしてこられたことに対し、敬意と感謝を申し上げます。
 今年度は今後6年間での300億円の教育投資を行い、空調整備等や特別支援学校の児童生徒の増加に向けた対策と、業務支援員の勤務日数拡充、引き続き各種システム整備にICTの活用、また外部人材の登用など、働き方改革で教職員が個々の指導力を発揮できる働きがいのある職場づくりをとも協力し取り組んでいきたいと思ひます。
 今年度も県教育委員会では従来の労使環境を尊重し、相互の信頼関係を大切に、相互理解を深めながら真摯に各種の課題に誠意を持って対処していきたいと考えております。

「人格の完成をめざすための教育を」
 高教組 中村太朗 中央執行委員長あいさつ
 私が高知県採用で教員となった27年前、先輩につれられて訪れたおぼんざい屋のおかみさんに顔をじっと見られ「おまん、教師か？教育とは何ぞね」と聞かれたことが忘れられません。
 「教育とは何か？」2000年代初頭、国会で教育基本法が改正されましたが、新旧いずれの基本法も第1条は「教育の目的」であり「人格の完成をめざす」ことが謳われています。
 高知県の山間の小規模校に始まり、初任校ではSSH指定の進学校、そして兵庫県に変わってきたからは、指導困難校、工業高校、専門科高校と様々な学校を経験しました。学校が違えば日々の教育テーマも変わりますが、「人格の完成をめざす」、あるいは「立派な大人をめざす」学校教育の大切さは変わりま

せん。
 今、私たちの現場で山積する様々な課題については、お互いの立場を超えて、ともに知恵を出し合って解決にあたらなければならないと、本当に日々思っています。なぜならば「教育とは何ぞね」という問への答えは、立場の違いはあっても、きっと同じであると私は信じているからです。
 これからも、従来の労使慣行を尊重していただき、お互いの信頼関係をさらに積み上げながら、子どもたち、そして教職員のために、ともに頑張っていただきたい。その決意と期待を申し上げ、冒頭の挨拶とさせていただきます。

「教職の魅力を取り戻すために」
 赤松弘基 書記長

昨年、兵庫では全国に先駆けて「教員未配置が多忙化の一因である」との人事委員会勧告が出ましたが、勤務や労働条件に関わる勧告を出す人事委員会が「配置」に踏み込んだこの発言の重さをしっかりと受けとめ、未配置による業務負担のしわ寄せが起こらない更なる制度設計を強く求めます。
 ハラスメント事案についても、どこの職場でも起こりうる問題だとの認識に立った指導の徹底、会計年度任用職員に対する勤勉手当支給の前倒し、常勤講師の全員2級額適用等「同一労働同一賃金」の観点からの処遇改善をお願いしたい。
 また統廃合問題について請願署名は短期間で1万筆を超える数が集まりました。学校を潰すのではなく少人数学級を導入し、教育予算と教職員定数を増やすことによって、教職員の命と健康を守り、地域と子どもたちを中心に据えた学校を創っていただきたい。

「採用再開で同志が増える喜び」
 福田純次 従組委員長
 昨年の確定交渉では、正規の技能労務職には給与改定は無く、加えて兵庫県独自の技能

労務職の給料表が改悪され、我々の生涯賃金にマイナスの影響が出る結果となりました。しかし、約20年間技能労務職の採用が中断していた中、校務員のみではあるが採用試験再開となり、来年度から少しずつ兵庫の教育を陰ながら支えて行く正規採用の同志が増えるということに喜びと期待を持っています。
 今後も制度変更や従組独自課題に対しては労使間の交渉にて決めてきた良き慣行を尊重していただき、丁寧かつ誠意ある対応をお願い致します。

「現場の声に耳を傾け抜本的な改革を」
 中西園枝 中央執行副委員長(障教組委員長)

豊岡聴覚、出石特別支援学校の統合見直しにおける寄宿舎の存続や念願の但馬地域の聴覚高等部創設、また阪神間や東播磨地域の狹隘対策としての新設・改築・増築など、地域の期待に応える特別支援教育の環境整備の推進に感謝しております。
 各現場では教員不足が常態化する一方、小学部の入学児童が増加し続けています。代替教員が未配置の状況が長期間続く学校も少なくありません。先読み加配も始まりましたが、重複認定等教員定数、寄宿舎職員採用試験の年齢条件の撤廃と継続的な実施改善を強く求めます。もっと豊かな教育がしたいという切実な現場の教員の声に耳を傾け、インクルーシブな社会づくりに向けて根本的な取り組みを知事とともに共同して取り組んでいただきたいと思ひます。

「労使慣行を尊重し、信頼関係を大切に」
 教育長回答

ただ今いただいた多様な要求ご意見については、これまで意見交換の内容も充分踏まえた上で今後しっかりと検討してまいります。従来の労使慣行をしっかりと尊重し相互の信頼関係を大切にしながら、お互いの理解を深めながら誠意を持って今後とも対処してまいりますのでよろしくお願い申し上げます。